

昭和44年8月豪雨(44災)から50年

なぬりかあ ～災害の記憶～

令和元年(2019)

7月20日(土)～9月8日(日)

【開館】 午前10時～午後6時
(入場は午後5時30分まで)【休館日】 月曜日、8月13日(火)
※8月12日(祝)は開館

滑川市立博物館 3階

〒936-0835 富山県滑川市開 676 TEL:076-474-9200

主催：滑川市教育委員会／滑川市立博物館

協力：富山県東部消防組合滑川消防署／船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」

入場
無料

シンポジウム

「滑川の災害を知り、備える」

過去に起きた滑川の災害を学び、今後起こり得る災害について知ることで、万が一、災害が起きたときの身の守り方などについて、災害史研究者・気象予報士・防災士のそれぞれの立場からお話いただきます。

7月28日(日) 午後2時～

※午後1時～担当学芸員による展示解説会を行います。

申込不要
参加無料

滑川市立博物館 ガイダンスルーム



「歴史学からみる越中富山の地震～安全神話は本当か?～」

高野 靖彦さん (災害史研究者・富山県「立山博物館」学芸課長)



「富山のお天気～地球温暖化で変わる気象と防災～」

木地 智美さん (気象予報士・富山テレビ放送気象キャスター)



「防災士として伝えるべきこと」

脇坂 静也さん (防災士・滑川防災士連絡協議会)



常光寺神明社付近／昭和44年(1969)／館蔵



菰原交差点付近／昭和44年(1969)／館蔵



水害後の堀江／昭和44年(1969)／館蔵



入会橋付近(下流側から近景)／昭和44年(1969)／館蔵

昭和 44 年 8 月豪雨(44 災)から 50 年

なめりかあ ～災害の記憶～

滑川市は、劔岳を源として富山湾へ流れる早月川が形成した扇状地上にあり、良好な大地と水循環が保全されています。その一方で、急流河川のもたらす水害に繰り返し苦しめられ、立ち向かってきた歴史があります。

昭和 44 年(1969)8 月、県東部を中心とした集中豪雨に見舞われました。この豪雨により早月川、上市川が 8 月 11 日に決壊して滑川市でも大きな被害を出したこの災害から、本年が 50 年にあたります。

富山県は「災害が少ない」と言われていますが、多くの急流河川を抱えていることから、県の歴史自体が「水との闘いの歴史」という一面を持っています。富山湾独特の寄り回り波による浪害、雪国として避けることのできない豪雪をはじめとする災害も経験してきました。

本展では、古文書・絵図・新聞・写真をはじめとした約 200 点の資料から現在の滑川市域で被害を出した災害を取り上げるとともに、先人たちの防災への取り組み、祈りの形なども併せてご紹介します。この機会に防災・減災について、一緒に考えてみませんか。



浸水した晒屋通り／昭和30年代／滑川消防署蔵



冠水した市道滑川中央線のアンダーパス／平成13年(2001)／滑川市蔵



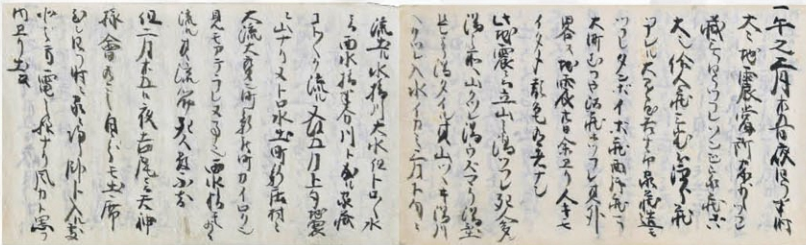
刺子頭巾(左)、印半纏(中)、鳶口(右)／近代／館蔵



消防署(田中町)の望火櫓／昭和30年代／滑川消防署蔵

■展示構成

1章	水害～「昭和44年8月豪雨(44災)」と市域を襲った洪水害～
2章	火災～町をなめつくす厄災～
3章	震害～安政飛越地震を中心に～
4章	浪害～寄り回り波と滑川～
5章	雪害・風害ほか～さまざまな災害～



歳代記帖／文久2年(1862)／富山県公文書館蔵「中山貞義氏旧蔵文書」



浪除御用石／近世期／館蔵



打ち上げられた石で埋め尽くされた加積雪島神社境内／大正5年(1916)／個人蔵



安政五年常願寺川非常洪水山里変地之模様見取図／安政5年(1858)以降／館蔵「岩城家文書」



大雪の瀬羽町通り／昭和38年(1963)頃／館蔵



強風による櫛原神社(神明町)の倒木被害／平成16年(2004)／滑川市蔵



関連イベント

I シンポジウム「滑川の災害を知り、備える」

申込不要

7月28日(日) 午後2時～

※午後1時～担当学芸員による展示解説会を行います。

滑川市立博物館 ガイダンスルーム

※詳しくは表面をご覧ください。

II 消防車がやってくる!!

申込不要

8月17日(土) 午前10時～正午

滑川市立博物館 駐車場

※滑川消防署から消防車が来てくれます!

※急な出動等により、時間の短縮や中止になる場合もあります。

すべて参加無料!
どなたでも
参加できます

(Ⅲ・Ⅳは小学生以下、
保護者同伴)

III 工作体験!防災グッズを作ろう!!

要申込

8月3日(土)、4日(日) 午後1時～3時

滑川市立博物館 ガイダンスルーム

定員: 各回20組(先着順)

講師: 滑川防災士連絡協議会の皆さん

持ち物: 新聞紙(1日分)、カッター

※段ボールを使った簡易トイレ、新聞紙を使ったスリッパや食器作りを体験します!

IV 滑川の災害・防災に関わる現地見学会

要申込

8月11日(日)、31日(土) 午後1時～4時頃

滑川市立博物館(博物館からバスで移動、徒歩移動の場所もあります)

定員: 各回30名(先着順)

案内人: 担当学芸員

V 展示解説会

申込不要

7月20日(土)、8月10日(土)、25日(日)、

9月8日(日) 午後1時30分～(30～45分程度)



富山日報／大正4年(1915)／
富山県立図書館蔵



北日本新聞／昭和29年(1954)／
富山県立図書館蔵



同時
開催

写真パネル展

災害現場で活躍!!

85 台約 200 枚の写真を展示!!

滑川の消防車 いま むかし

滑川消防署が所蔵する消防関係車両アルバムの過去から現在までの写真を中心にご紹介します。旧滑川町、滑川市消防署及び消防団に配備(転属)された車両がほとんど所収されているとみられます(※)。

クラシックカーをベースにしたレトロな消防車から最新鋭の消防車へ、車両デザインや装備の変遷を通じて、各時代に思いを馳せながら楽しんでいただけるものと思います。

明治40年(1907)に滑川町が購入した蒸気ポンプに始まり、消防車57台143枚、救急車10台20枚、指令車・査察車・資材搬送車など16台39枚、計83台202枚の写真群になります。滑川消防署が保管する業務記録写真や滑川市立博物館が所蔵する写真、今回撮影した写真などを加え、85台約200枚の写真を井上衛さん(自動車史ライター)による解説でご紹介します。

※滑川市へ合併前の消防車、予備車、指令車などに一部含まれない車両があります。



令和元年(2019)

7月20日(土)～9月8日(日)

【開館】 午前10時～午後6時
(入場は午後5時30分まで)

【休館日】 月曜日、8月13日(火)
※8月12日(祝)は開館

滑川市立博物館 3階

入場
無料

- ① チャンドラー ポンプ車
- ② 1936年式フォード ポンプ車
- ③ 1942年式ニッサン ポンプ車
- ④ 1952年式トヨタ ポンプ車
- ⑤ 1965年 トヨタランドクルーザー ポンプ車
- ⑥ 1969年 トヨタ救急車
- ⑦ 1969年 ニッサン 化学消防車
- ⑧ 1975年 ふそう ポンプ車
- ⑨ 1985年 日野スーパーバドルフィン 化学消防車
- ⑩ 1996年 トヨタ救急車 ハイメディック
- ⑪ 2003年 いすゞ ポンプ車
- ⑫ 2014年 日野レンジャー はしご車
- ⑬ 2016年 日野レンジャー ポンプ車



●申し込み・お問い合わせ先

滑川市立博物館

始めました!!



〒936-0835 富山県滑川市開676 TEL:076-474-9200/FAX:076-474-9201
URL: https://www.city.namerikawa.toyama.jp/museum/
E-mail: hakubutsukan@city.namerikawa.lg.jp

■自動車/北陸自動車道・滑川インターチェンジから約2分。国道8号線・稲泉交差点から約7分。
■公共交通機関/あいの風とやま鉄道(滑川駅)、富山地方鉄道(滑川駅・中滑川駅)からコミュニティバス(のるmy car・大日・室山ルート)で20～25分、「博物館」すぐ。

■コミュニティバス時刻表

市民交流プラザ前	11:44	14:16	16:46
博物館前	12:05	14:37	17:07
開	12:27	14:59	17:29
市民交流プラザ前	12:55	15:27	17:57

博物館カフェ OPEN

